

第 772 回 例 会

30年7月27日

本日のプログラム

- ・夜例会（直前会長・幹事 慰労会）
時間 18:30～
場所 つるとんたん 琴しょう楼
(北区曾根崎新地1-4-20 桜橋IMビルB2)

次回(8月3日)のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 豊島 秀郎 会員
「自己紹介」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・第1回委員長会議 13:40～ 4階「桃山の間」

8月の例会予定

- ◎3日 卓話 豊島 会員
- ◎10日 卓話 斉藤会員 / ガバナー補佐訪問・クラブ協議会
- ◎17日 休会(お盆)
- ◎24日 卓話 森本 会員
- ◎31日 ガバナー公式訪問

先週(7月20日)の例会報告

■会長の時間

【暑さと気温】

- ・いよいよ真夏真っ盛りとなりました。この暑い日を表す言葉として、夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜という言葉が使われていますが、これらの言葉は、どんなふうに使分けられているのでしょうか。
- ・まず、夏日というのは、一日の最高気温が25℃以上となった日のことを言います。したがって、4月、5月頃から夏日が始まるわけです。次に暑いのは、真夏日ですが、これは、最高気温が30℃以上となった日のことを言います。そして最も暑いのが、猛暑日です。猛暑日は、最高気温が35℃以上の日のことです。それから、熱帯夜というのは、夕方から翌日の朝までの最低気温が25℃以上になる夜のことだそうです。
- ・ところで、猛暑日や熱帯夜を表す気温は、どういう条件で測られた温度なのかと言いますと、コンクリートやアスファルトの上ではなく、芝生の生えた平坦な土地の上で、直射日光が当たらず、雨や雪も降りかからず、さらに風通しの良い環境であって、地面から1.5m上方の位置に温度計を置いて測った温度なのです。つまり百葉箱の中の温度なのです。
- ・したがって、猛暑日についていえば、百葉箱の中で35℃であっても、太陽の直射日光の当たる場所、さらにはアスファルトの上の温度は、それよりさらに高温になっていることは容易に想像できると思います。
- ・では、気温30度の時、アスファルトの表面は何度かと言いますと、50℃から60℃に達することが実験により確認されています。また、アスファルトの表面から1mほど上方の位置、つまり、子どもが呼吸をしている口の位置、では何度かと言いますと、約35℃に達しているとのことでした。
- ・60℃といえば、やけどになる温度ではないかと思えます。ペットの散歩をするときは、十分に気を付ける必要があります。また、小さい子供を連れて歩くときは、大人と子供で吸っている空気の温度にかなり差があることに注意をしたいものです。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

30年7月20日(第771回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
34名	0名	20名	14名	58.82%

【幹事報告】

- 【メール送信】 1)クラブホームページ 新年度更新について ⇒ 7/17 配信
- 【回覧資料】 1)平成30年7月豪雨義捐金 募金箱 2)他クラブより例会変更(年間)のお知らせ(4RC)

ニコニコ箱(7月20日)

- 福島 三雄 =暑いですね。 笹田さん、卓話 楽しみにしています。
- 花谷 尚嗣 =映画「ワンダー」「焼肉ドラゴン」良かったですよ。 暑い日は映画などで過ごすのもいいのでは？
- 久保田秀一 =毎日暑い日が続いていますが、みなさん体調に気をつけて下さい。
- 森本 良嗣 =毎日暑い日が続いていますが、皆様気をつけて下さい。 笹田さん、卓話ががんばって下さい。
- 辻田 知史 =暑い日が続きます。 皆さん体に気をつけて下さいね。 私は先日の連休、ビーチとプールで日焼けして真っ黒けになってしまい、遊び倒したように見えてちょっとヤバいかな・・・と思う今日です。 でも健康的でいいですよ。 皆さん外では熱中症に気をつけましょう。 笹田さん、卓話 楽しみです。

和氣 勝海 =暑いですね。暑さのせいではないのですが、先週はお休みを頂きました。スママセン。
笹田さん、卓話 楽しみにしています。

【SAA報告】	ニコニコ箱	本日計 6000円	今年度合計 4340856円
---------	-------	-----------	----------------

卓話(7月20日)

「ブルーオーシャンのお仕事」 笹田 隆志 会員

卓話時間の使い方については、会長時代から会員自ら語りましょうと奨励していた。
秋山会員からも会員同士が知り合う場として、卓話時間をうまく活用できないかと言うアドバイスもいただいていた。
例えば自らについて語るという事。仕事や会社、時には人生を語ることで、互いに少しでも知り合うことを深め、それが共感につながるがあっても良いのではないかと。それで今回の卓話テーマを選びました。
自分を語る上で会社創業と家内のガン告知と治療が、今から思えば一番大変な時であった。

2005年秋山会員の紹介で入会。
2011年ソニー生命を退職して創業。
事業内容は、生命保険と損害保険の代理店、M&Aのコンサル。
2012年家内のガン告知、治療生活が始まる。
2015年治療の甲斐なく死去。
2016年東京営業所開設。
2017年間接費削減のコンサル事業を新たにスタート。
2018年まだまだ会社から目が離せない状態が続いて現在に至る。

少し遡って転職のお話をします。

1995年大手からソニー生命にスカウトされて転職。入会してからもそのことを自慢げに話していた自分を恥ずかしく思う。この場をお借りして耳障りなことであったとお詫びしたいと思います。
当初は順調なスタートで収入が増えてくると、反対に公私ともに生活も荒れて来た。好邪魔多しの通り、保証していた叔父の借金の肩代わりで、東京地裁から任意整理の決定を受けて、返済が未だ長期に渡るため金融機関の与信が付かない身分。

そんなところに秋山さんから入会の誘いを受ける。仕事にもつながるだろうかもしれないと言う甘い期待でお引き受けしたが、クラブ内で保険勧誘についてはと釘を刺されていた。家内は会員の方々との交流には感謝していたが、一方で仕事につながらず会費の負担も大変なので、続けることにはずっと反対していた。

入会后2~3年で続けようかどうか迷った。クラブ外の永年経験者に相談したが、迷いが晴れる事はなかった。
おそらくロータリーに何かを求めて、それが得られないから迷っていたんだろうと、今となっては感じる事ができる。全くその反対で自分が今ここで何ができるのかと言うスタンスが大事なんだと理解し始めている。

これまでも俺が俺が頭頭を打つこともしばしばで、そんな私を一番厳しく指導してくださっているのは秋山さんです。

そこから相手を思いやり、自分の立ち振る舞いを抑制して、磨いて行く事を学んでおり、ロータリーも広い意味で同じことを学ぶ場だと思っています。深いところにある本当の自分を修正するあるいは変えると言うのは大変難しい課題です。ゴールは見えませんがロータリーを続けることで、その意義を見出しながらこれからも活動したいと思っています。

事業のV字成長が大きな目標なので、東京での仕事と生活のウエイトが大きくなってくると例会出席をどうするか頭が痛くなりますが、そうならまたご相談したいと思います。ありがとうございます。

大阪ユニバーサルシティRC URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mail: ucrc@osaka-ucrc.org 創立: 2001年3月27日
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか